

福山市の名誉市民一覧

平櫛 田中		<p>1872年（明治5年）～ 1979年（昭和54年）</p> <p>10歳のとき福山市の平櫛家の養子となり、22歳のころ木彫りを始めました。1954年（昭和29年）文化功労者、1962年（昭和37年）には文化勲章を受章するなど、わが国伝統の木彫界の巨匠として活躍しました。伝統的な木彫と西洋の彫塑を学んだ田中の作品は、観る者を引き込む緊張感と人間味あふれる豊かな創造性を持っています。</p>
井伏 鱒二		<p>1898年（明治31年）～ 1993年（平成5年）</p> <p>1938年（昭和13年）「ジョン万次郎漂流記 風来漂民奇譚」により第6回直木賞を受賞して以来、第1回・第23回読売文学賞・日本芸術院賞、第19回野間文芸賞などを受賞し、1966年（昭和41年）文化勲章を受章しました。代表作に「山椒魚」や「黒い雨」があります。</p>
葛原 しげる		<p>1886年（明治19年）～ 1961年（昭和36年）</p> <p>教師をしながら数多くの童謡を作詞しました。「夕日」「とんび」等、今なお人々に歌われる名作を発表するほか、多くの校歌を作詞するなど、教育文化の発展にも貢献をしました。信条とした「いつもニコニコ！いつもピンピン！」から、「ニコピン先生」として親しまれています。</p>
野島 泰治		<p>1896年（明治29年）～ 1970年（昭和45年）</p> <p>国立療養所大島青松園所長等を務め、ハンセン病の治療や研究、更には予防事業等に尽力し、その功績は国際的にも高く評価されました。国際ハンセン病学会会員、日本ハンセン病学会名誉会員、公共の福祉の増進に貢献しました。</p>
森戸 辰男		<p>1888年（明治21年）～ 1984年（昭和59年）</p> <p>文部大臣、広島大学学長、文化功労者、日本ユネスコ国内委員会会長、中央教育審議会会長などを務めました。文部大臣当時は、戦後の教育改革をはじめ、教育再建と振興に貢献しました。</p>
福原 麟太郎		<p>1894年（明治27年）～ 1981年（昭和56年）</p> <p>東京文理科大学教授、日本英文学会会長、東京教育大学教授、共立女子大学教授を務め、英文学者として研究を進めました。1961年（昭和36年）に『トーマス・グレイ研究抄』により第12回読売文学賞、1964年（昭和39年）に『チャールズ・ラム伝』により第15回読売文学賞、1963年（昭和38年）第19回日本芸術院賞を受賞しました。</p>
神原 秀夫		<p>1916年（大正5年）～ 1977年（昭和52年）</p> <p>旧沼隈町初代町長として、多くのお金を投じて老人福祉施設、学校施設の整備やダム建設、道路整備等町の建設発展に努力しました。また、造船業や社会福祉海外移住振興にも貢献しました。</p>

<p>金島 桂華</p>		<p>1892年（明治25年）～ 1974年（昭和49年）</p> <p>14歳で日本画を描き始めました。1952年（昭和27年）芸術選奨文部大臣賞、1953年（昭和28年）芸術院賞などを受賞しました。日本芸術院会員、日展理事を務め、日本画の巨匠として、芸術文化の発展に貢献しました。</p>
<p>猪原 大華</p>		<p>1897年（明治30年）～ 1980年（昭和55年）</p> <p>日本画家として、1972年（昭和47年）日展での内閣総理大臣賞、1974年（昭和49年）日本芸術院恩賜賞などを受賞しました。日展参与、京都市立美術大学教授、京都画家協会理事長などを務め、芸術文化の発展に貢献しました。</p>
<p>櫻田 武</p>		<p>1904年（明治37年）～ 1985年（昭和60年）</p> <p>日清紡績株式会社に入社後、社長、会長、相談役を務めました。ほかに東邦レーヨン株式会社社長、日本経営者団体連盟会長、日本国有鉄道諮問委員会委員長、財政制度審議会会長として活躍しました。わが国経済の進展と社会文化の向上に貢献しました。</p>
<p>澁谷 昇</p>		<p>1904年（明治37年）～ 1994年（平成6年）</p> <p>1948年（昭和23年）に福山通運株式会社を設立し社長に就任、名誉会長を務めました。福山市議会議員、福山商工会議所副会頭、全日本トラック協会副会長、貨物自動車運送事業振興センター理事長などとして活躍しました。福山通運澁谷長寿健康財団などの設立をはじめ、地域の経済発展と社会文化の向上に貢献しました。</p>
<p>村上 銀一</p>		<p>1904年（明治37年）～ 1983年（昭和58年）</p> <p>1923年（大正12年）ハワイに渡り、父が経営するサトウキビ農場を手伝った後、独立しました。果樹園経営などを経て建設業で成功しました。その後ホテル、アパートなど幅広く事業を展開し、郷土の発展を祈り、善行市民の表彰や青少年の海外交流に貢献しました。</p>
<p>桑田 笹舟</p>		<p>1900年（明治33年）～ 1989年（平成元年）</p> <p>1924年（大正13年）一楽書学院を設立、会長に就任しました。以来かな書道の探求と後継者の養成に努め、1951年（昭和26年）日展特選、1970年（昭和45年）日本芸術院賞等を受賞しました。日展理事、かな書道界の最高峰として活発な創作活動を続け、わが国かな書道界と文化の向上に貢献しました。</p>
<p>吉川 英士</p>		<p>1909年（明治42年）～ 2006年（平成18年）</p> <p>邦楽研究家、日本音楽史の第一人者です。1993年（平成5年）文化功労者顕彰を受賞し、武蔵野音楽大学教授、東京芸術大学教授、東洋音楽学会会長、（財）宮城道雄記念館館長などを務めました。伝統音楽の芸術的価値を説き、日本音楽史、芸能史に大きな進展をもたらし、芸術文化の発展に貢献しました。</p>

<p>宮地 茂</p>		<p>1914年（大正3年）～ 2005年（平成17年）</p> <p>文部省大学学術局長，初等中等教育局長などを務めました。1975年（昭和50年）福山大学を開き，理事長・学長として，西日本有数の総合大学に育てました。1994年（平成6年）福山平成大学の開学にも尽力し，学校法人福山大学名誉総長として活躍し，教育・文化の発展や地域の活性化に貢献しました。</p>
<p>松本 卓臣</p>		<p>1920年（大正9年）～</p> <p>山陽染工株式会社社長，福山瓦斯株式会社社長，1991年（平成3年）福山商工会議所会頭に就任し，本市経済界のリーダーとして活躍しています。福山市観光協会会長，都市計画審議会委員など公職にも就任し，2002年（平成14年）旧福山そごう跡地を市に無償提供するなど，産業の振興や地域の活性化に貢献しました。</p>
<p>宮澤 喜一</p>		<p>1919年（大正8年）～ 2007年（平成19年）</p> <p>1953年（昭和28年）参議院議員に初当選，1967年（昭和42年）からは衆議院議員として連続12回当選しました。この間，経済企画庁長官，大蔵大臣などの要職を務め，1991年（平成3年）には内閣総理大臣として活躍するなど，50年にわたり国政をリードしました。本市への日本鋼管福山製鉄所の誘致や新幹線博多開業に伴う福山駅高架事業などに尽力し，公共の福祉の増進と地域の活性化に貢献しました。</p>
<p>青山 五郎</p>		<p>1930年（昭和5年）～ 2008年（平成20年）</p> <p>1964年（昭和39年）青山商事を創業し，一代で紳士服の業界首位の大企業に育て上げました。本市の大規模事業基金や社会福祉協議会への多大な寄付により，地域の発展と公共の福祉の増進に貢献しました。</p>
<p>小丸 法之</p>		<p>1928年（昭和3年）～ 2010年（平成31年）</p> <p>福山通運会長，（財）渋谷育英会理事長として，本市の大規模事業基金への寄付をはじめ児童の交通安全教育や安全対策への助成を行っています。全日本トラック協会副会長などを務め，自動車運送事業の振興に努めています。また，本市と北京市との教育交流の実現に尽力し，地域の発展と公共の福祉の増進，教育文化の振興に貢献しました。</p>
<p>栗原 靖 （蘆水）</p>		<p>1931年（昭和6年）～ 2010年（平成22年）</p> <p>日本を代表する書家。1994年（平成6年）日本芸術院賞を受賞しました。日展常務理事や日本書芸院理事長などを務めるとともに，日本や中国の貴重な書画，筆や硯など多数を寄贈するなど，ふくやま書道美術館の開設に尽力し，地域の発展と教育文化の振興に貢献しました。</p>
<p>小松 安弘</p>		<p>1937年（昭和12年）～ 2017年（平成29年）</p> <p>1962年（昭和37年）に福山パール紙工株式会社（現 株式会社エフピコ）を創業し，回収した使用済みのトレーを再生する独自のシステムを開発し，循環型社会の構築に尽力しています。また，公益財団法人小松育英会を設立し，経済援助が必要な子どもたちに学資の支援を行うなど，地域の発展と公共福祉の増進教育文化の振興に貢献しました。</p>